

ご来院の皆さまへ

## 新型コロナウイルス感染症に対する当院の方針

### 現状について

新型コロナウイルス感染症の流行拡大の第一波が終息しようとしています。堺咲花病院では、流行の早期から、発熱のある患者さまの診療において待合室や動線を分けるなど、様々な感染予防策を講じてきました。全国的にも流行のピークであった3月末から4月初旬にかけて、外来診療において、数名の新型コロナウイルス感染症の患者さまを診療させて頂きましたが、早期診断、早期治療により、重症に至った患者さまはおられませんでした。その後、現在までの4週間、外来患者さまで感染者はおらず、また、入院中の患者さま、および職員においても、これまでに感染者を認めておりません。

### 当院の感染対策の特徴

新型コロナウイルス感染症の感染経路は、①エアロゾル（マイクロ飛沫）感染、②直接飛沫感染、③接触感染の3つがありますが、このうち、最も重要なのは、「換気の悪い、密閉された空間」における**エアロゾル感染**と考えられます。当院では、直接飛沫感染、接触感染の対策も行いながら、エアロゾル感染による感染を最小限にするため、流行初期から、全館において徹底した換気を行なってきました。ただ、換気だけに頼ると、どうしても暑さと半年先に来る冬の寒さが問題になります。そこで、換気量を減らすことを可能にするために、全館に、ウイルス除去能力のある**プラズマクラスター発生装置付きの空気清浄機**を設置します。

皆さまにおかれましては、新型コロナウイルス感染症に対する不安を感じながら過ごされていると思いますが、当院は、今後も徹底した感染予防策を講じながら、早期診断、早期治療に努めてまいります。体調に異変を感じられたときは、お早めにご相談下さい。なお、**かぜ薬、熱さまし、咳止めは、病気を重症化させてしまうため、自己判断で服用しないよう、お願い致します。**

この事態が1日も早く終息し、皆さまに平穏な生活が戻りますよう、心から願うとともに、地域の医療機関としての役割を果たして参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

令和2年5月15日  
社会医療法人 啓仁会 堺咲花病院